

第2回大さん橋等指定管理者選定委員会議事概要

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 平成22年9月3日（金）13時30分から18時45分まで |
| 開催場所 | 産業貿易センタービル6階 横浜市港湾局応接室 |
| 出席者 | 横内憲久委員長、輿水肇委員、嶋田昌子委員、見瀬賢悟委員、森本靖之委員 (全委員出席) |
| 議題 | 1 大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場） 2 臨港パーク等関連施設 3 日本丸メモリアルパーク に係る指定管理者の選定について |
| 概要 | ○開会 ○議事 1 応募手続きの状況について 第1回大さん橋等指定管理者選定委員会（平成22年7月5日開催）以降の応募状況等を、事務局から報告した。 2 審査の進め方について 書類審査、面接審査の進め方について、確認を行った。また、評価点が同点となった場合の取り扱いについて、審査に先だち定めた。 【評価点が同点となった場合の取り扱い】 大項目「管理運営の基本方針」と大項目「管理運営の安定性」の合計点の高い方を上位とする。 3 書類審査について 応募書類に基づく評価について、各委員から意見を述べた。 4 面接審査（プレゼンテーション及び質疑）について 応募者から口頭で提案説明（プレゼンテーション）を受け、その後、委員による質疑を行った。 【面接順】 (1) 大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場） ・相鉄企業株式会社 ・大さん橋スピリッツ2011 (2) 臨港パーク等関連施設 ・株式会社横浜国際平和会議場 ・株式会社エグゼクティブプロテクション (3) 日本丸メモリアルパーク ・帆船日本丸記念財団・JTB 法人東京共同事業体 ・商船三井興産株式会社 面接終了後、各委員から講評を行った。 |

5 評価点の確定について

書類審査及び面接審査の結果、最終の評価点を確定した。

【応募者評価点（受付順）】

- (1) 大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場）
 - ・相鉄企業株式会社 839 点
 - ・大さん橋スピリッツ 2011 796 点
- (2) 臨港パーク等関連施設
 - ・株式会社横浜国際平和会議場 780 点
 - ・株式会社エグゼクティブプロテクション 680 点
- (3) 日本丸メモリアルパーク
 - ・帆船日本丸記念財団・JTB 法人東京共同事業体 803 点
 - ・商船三井興産株式会社 801 点

【各施設の講評】

- (1) 大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場）

相鉄企業株式会社は、5 年間の実績にもとづく具体的提案が評価され、管理運営の基本方針、管理運営の安定性、管理運営に関する提案の各項目において、上位の評価となった。特に、新しい展開についての提案内容などに意欲を感じた。

大さん橋スピリッツ 2011 は、細かいところでは極めてユニークな提案が散見されるが、全体的に表現が抽象的であったため、実現性が懸念された。

- (2) 臨港パーク等関連施設

株式会社横浜国際平和会議場は、管理運営の基本方針、管理運営の安定性、管理運営に関する提案、収支計画の全ての項目において、上位の評価となった。しかし、総合的に高い評価とは言えず、管理運営にあたっては、さらなる努力・工夫が期待される。

株式会社エグゼクティブプロテクションは、臨港パーク以外の関連施設に係る提案がほとんど無かったことが、評価に影響した。

- (3) 日本丸メモリアルパーク

両応募者の評価点は僅差であるが、帆船日本丸記念財団・JTB 法人東京共同事業体は、管理運営の基本方針、管理運営の安定性の項目において、上位の評価となった。特に、帆船日本丸の保存・活用など様々な領域での市民ボランティア育成の提案については高く評価した。また、特殊な施設の管理運営のため、点数には表わし難いが、現在の指定管理者としての実績は評価すべきと考えられ、加えて 5 年間の実績を踏まえた熱意の向上を強く感じた。一方で、広報に関しては、観光企業としての優位性を活かしたさらなる工夫が期待される。

商船三井興産株式会社は、管理運営に関する提案及び収支計画の項目において、上位の評価となったが、管理運営の基本方針及び管理運営の安定性の項目については相対的に低い評価となった。

○閉会